

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

報告 — 東北地方太平洋沖地震 —

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖（北緯30.0度、東経142.9度、牡鹿半島の東南東130km付近）を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生しました。この地震は、国内では過去最大規模で、地震のエネルギーは阪神淡路大震災の約1000倍にもあたり、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしました。

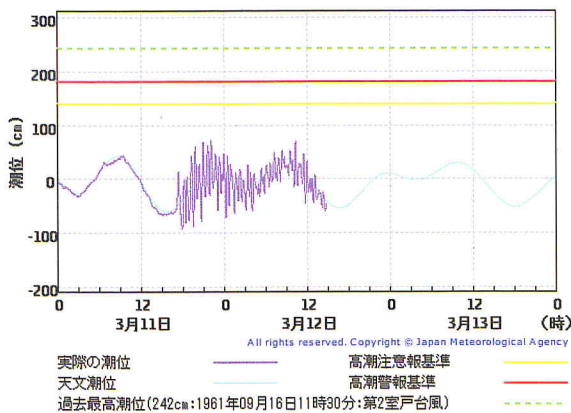
徳島県内における影響

<注意報・警報の発表状況>

- 3月11日 14時50分 徳島県沿岸に津波注意報発表
15時30分 徳島県沿岸に津波警報発表
16時08分 徳島県沿岸に大津波警報発表
- 3月12日 13時50分 大津波警報を津波注意報に変更
- 3月13日 7時30分 津波注意報解除

<津波観測状況> (13日8時2分 気象庁発表時点)

- ・徳島由岐(美波町)最大波高 1.1m(11日20時27分)
- ・小松島(小松島市)最大波高 0.7m(11日19時50分)



小松島の潮位の実況(気象庁HPより)

阿南市など4市町が計約12,500世帯、約29,000人に避難指示、徳島市など4市町も避難勧告が出されました。
また、海陽町の浅川港や那佐港ほか、県内の各地で漁船や漁具に被害が生じた模様です。幸いにも港湾関係での施設被害、人的被害はありませんでした。



浅川港の状況(徳島県提供)

四国地方整備局では、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣し、被災地での支援を行っており、当事務所のメンバーも出動準備をしております。

四国に住む私達は、東北地方を中心に甚大な被害をもたらしたこの地震を、次の東南海・南海地震対策への教訓にして、更なる防災意識の向上に努めなければなりません。

INDEX

- みなと報告 1
東北地方太平洋沖地震
- みなとインフォメーション 2
徳島小松島港【小松島港区】修景緑地工事
- なるほどみなと講座 3
植物検疫
- みなと通信 4
報告「気象庁発表の津波情報等へ活用 徳島海陽沖 GPS波浪計」
報告「国際線チャーター便就航 徳島阿波おどり空港」

徳島小松島港【小松島港区】修景緑地工事

港湾環境整備事業として、小松島市小松島町新港にて、栈橋の修景工事を行いました。昔はフェリー乗り場として使っていた栈橋ですが、フェリー廃止後は、役目を終えた栈橋だけがとり残された状態でした。

そこで、老朽化した栈橋の先端を撤去、元根井地区にあった浮栈橋を連結させて再利用し、既存施設を生かした修景緑地の整備を行いました。栈橋にベンチと照明灯の設置を計画しており、昼間は潮風を楽しむ解放的な空間、夜は落ち着いた港の風情が感じられる癒しの空間を創出。隣接する「しおかぜ公園」や「ボードデッキ」と共に、多くの方々の憩いの場となることを期待しています。

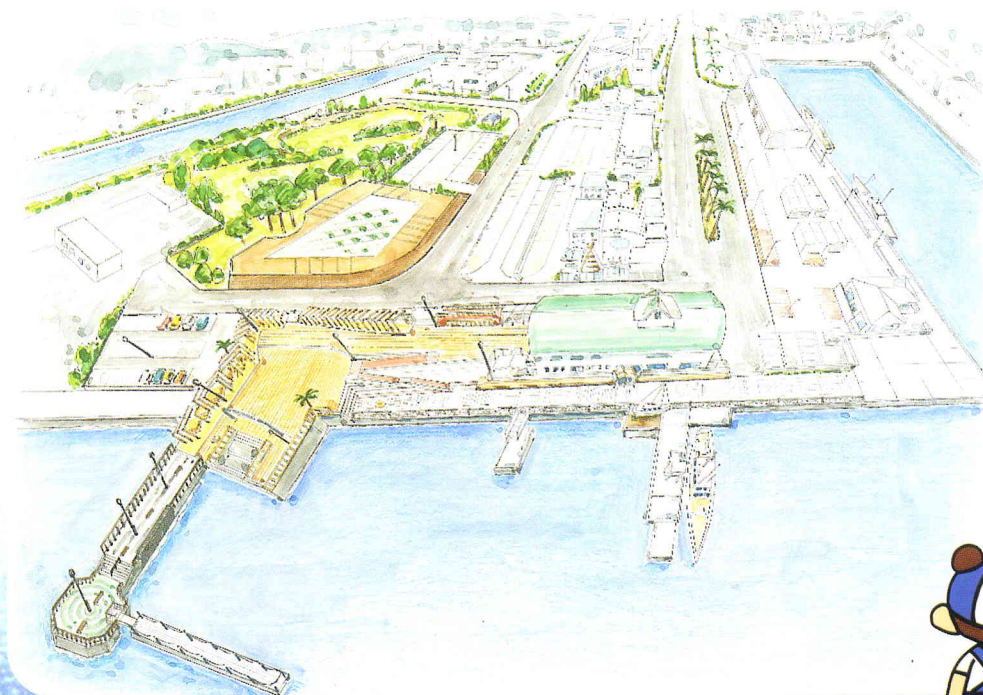
また、浮栈橋はイベント時の水上ステージとしての活用も考えており、ビジターハーバーフェスティバルなど各種イベントに活用できる「にぎわい空間」にしていきたいと考えています。

ぜひ、お近くにお立ち寄りの際は足を伸ばしてみてください。

詳しくは、徳島県運輸政策課企画担当（TEL:088-621-2584）へ。



↑ 工事の状況



↑ 完成イメージ



こまぼんのなるほど！ みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

—第24回— 植物検疫

国境を越える交通及び物流において必要とされる手続に、C I Qと言われるものがあります。CはCustoms(税関)、IはImmigration(入出国管理)、QはQuarantine(検疫)です。第23回の動物検疫に続き、植物検疫について勉強しましょう。

植物検疫

我が国の農作物等に被害をもたらす、海外からの病虫害(検疫病虫害)の侵入を防ぐため、港や空港では輸入検疫が行われます。また、重要病虫害の国内でのまん延を防ぐための国内検疫、諸外国の要求に応じた輸出検疫なども行われ、検査の結果、有害なものは消毒、廃棄などの措置がとられます。



輸入検査の流れ



◆ 輸入植物検疫

輸入植物検疫の対象は、苗、穂木、球根、種子などの栽培用植物及び野菜、果物、切り花、木材、穀類、豆類等の消費用植物の他、植物に有害な生きた昆虫・微生物など広範囲にわたっています。一方、製材・製茶など高度に加工された植物や死滅した昆虫標本等は輸入植物検疫の対象としていません。

輸入された植物は、輸出国の政府機関による検査証明書が添付されているかどうか、輸入禁止品かどうか、検疫有害動植物かどうかなどチェックされます。

輸入検査の結果、輸入禁止品や植物検疫の対象となる病虫害が付着していた場合は不合格となり、消毒、廃棄又は返送の措置が命じられます。



↑ 木材の検査



↑ 未熟バナナの検査

◆ 輸出植物検査

輸出相手国の植物検疫条件への適合性を調べるため輸出検査を行います。この輸出検査に合格したのものには、「植物検疫証明書」が発給されますので、この証明書を輸出植物に添付して輸出します。

輸出検査は基本的に植物防疫所で行いますが、必要があれば輸出植物の集荷地などで行うことも可能です。

出典：農林水産省ホームページ(植物防疫所)より
<http://www.maff.go.jp/ppls/>

報告

気象庁発表の 津波情報等へ活用

徳島海陽沖 GPS波浪計

平成22年1月に徳島県海部郡海陽町(竹ヶ島)沖合約20kmにGPS波浪計が設置されました。

現地観測データの初期設定など試験運用を約1年間実施し、平成22年12月8日からナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)の、WEBサイトを通じて波浪データをリアルタイムで公開しています。

また、徳島海陽沖GPS波浪計データは、平成23年3月24日より、気象庁の津波警報、津波注意報など津波情報にも活用される予定でしたが、このたびの地震対応からしばらく延期となりました。

ナウファスでは引き続きデータを公開しておりますので、地域の防災・減災対策にご利用ください。

<GPS波浪計とは?・・・あわみなと通信Vol.19参照>



報告

国際線 チャーター便就航

徳島阿波おどり空港

徳島と、中国 長沙(湖南省)を結ぶ国際定期チャーター便が3月22日就航。

徳島空港では初の国際定期便の就航です。

この国際定期チャーター便は、「トライアングルチャーター」と呼ばれる手法で、徳島(静岡)長沙を年間72往復する計画です。徳島阿波おどり空港に着いた中国からのツアー客は、静岡空港より帰国し、また逆ルートのツアー客は京阪神、徳島などを観光した後、徳島阿波おどり空港から帰国するようになります。

3月22日の特別便は、中国からの観光客を運んだ後の出発便で、県の訪問団(県内企業、関係者等)が中国に行き、徳島の観光PRなどを予定しております。



読者のみなさま、こんにちは、事務所長の河西です。

さて、みなさんは最近、「徳島阿波おどり空港」を利用されたでしょうか?

最近利用された方は気がついたと思いますが、ターミナルビル北側の風景が、昨年とは大きく変わりました。昨年4月のリニューアルオープン当時はほとんど植栽がなく、殺風景でしたが、昨年12月より、随所に徳島県の木である「ヤマモモ」を植樹するとともに、ホルトノキなどの高木やヒラドツツジなどの低木、ブルーパシフィックなどの地被類を組み合わせた植栽工事を行いました。

「徳島阿波おどり空港」は、東京便への全日空の再参入や空港の運用時間延長に加え、3月22日から、中国・湖南省の長沙との間で国際定期チャーター便が就航するなど、徳島県の経済、観光・交流の中心施設となっています。今回、これに相応しい景観を醸し出す事ができたものと自負しています。

4月から新年度です。気持ちを新たに頑張りたいと思いますので、引き続き、当事務所の事業にご理解とご支援をお願いします。

小松島港湾・空港整備事務所長 河西 博

風
NAGI

出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所
TEL (0885)-32-3357

ホームページ 「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。